



「手話が言語である」ことへの認知が広がるよう ブルーライトアップとパネル展示を実施します



ターゲット 3.8



ターゲット 10.2

2026 年 9 月 4 日
郡山市保健福祉部
障がい福祉課
課長 渡辺恵一郎
TEL：924-2388

SDGs ターゲット 3.8 「すべての人の UHC（ユニバーサル・ヘルス・カレッジ）を達成する」

SDGs ターゲット 10.2 「全ての人の能力強化及び社会的、経済的な包含を促進する」

9 月 23 日の「手話の日」「手話言語の国際デー」に合わせて、手話言語への理解を深めるためにブルーライトアップ及びパネル展示を実施します。

1 ブルーライトアップ

- (1) 期間 9 月 17 日（木）～27 日（日）
- (2) 会場 ① 中央公民館（郡山市麓山一丁目 8-4）＜日没～21：00＞
② 郡山公会堂（郡山市麓山一丁目 8-4）＜日没～21：30＞

2 手話に関するパネル展示

- (1) 期間 9 月 17 日（木）～27 日（日）
- (2) 会場 中央公民館 1 階展示スペース
- (3) 展示内容
 - ・郡山市手話言語条例に関するパネル及びパンフレット
 - ・第 21 回手話まつり PR ポスター及びチラシ
 - ・郡山市手話講座「一緒に手話を学びましょう」テキスト等

<ブルーライトアップ>

「手話が言語である」ことへの認知が広がるよう、9 月 23 日の「手話言語の国際デー」に合わせ、世界ろう連盟や国連のロゴの色であり、平和を表わすブルーの色で世界や日本各地でライトアップイベントが実施されています。また、国内において 2025 年 6 月 25 日に施行された「手話施策推進法」により 9 月 23 日が「手話の日」としても正式に定められています。

2015 年郡山市手話言語条例が施行され今年で 11 年目となる本市としても、「手話が言語である」との認識に基づき、より市全体が手話の理解に努め、手話の言語についての意識が高められるよう、また全ての市民が共に生きる地域社会を築くことを目的としブルーライトアップを実施します。

<手話言語の国際デー>

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。手話言語の国際デーは、2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国社会全体で手話言語についての意識高める手段を講じることを促進するとされています。また、9月23日は1951年に世界ろう連盟（WFD）が設立された日です。

また、2022年より、WFDからの働きかけで、世界各地でWFDのロゴの色である「世界平和」を表わす青色でライトアップを行っています。

2025年には、47都道府県448自治体862箇所にてブルーライトアップを行いました。

【出典：一般社団法人全日本ろうあ連盟 国際委員会公式サイト】

9月23日は「手話の日」 「手話言語の国際デー」



ブルーライトアップ

期間 9月17日(木)～9月27日(日)

場所 郡山市中央公民館 日没～21:00

郡山公会堂 日没～21:30



パネル展

期間 9月17日(木)～9月27日(日)

場所 郡山市中央公民館 1階

展示スペース



「手話が言語である」ことへの認知が広がるよう、9月23日の「手話言語の国際デー」に合わせ、世界ろう連盟や国連のロゴの色であり、平和を表わすブルーの色で世界や日本各地でライトアップイベントが実施されています。